

# 政 務 活 動 費 出 金 票

出 金 日	令和 3 年 8 月 24 日
項 目	① 調査研究費      ② 研修費      ③ 広報費 ④ 広聴費          ⑤ 要請・陳情活動費      ⑥ 会議費 ⑦ 資料作成費      ⑧ 資料購入費      ⑨ 人件費 ⑩ 事務所費
摘 用	魚津市議会報告      3A・6A 議会報告
金 額	74,415 円
支出内訳	請求書裏面  $76,230 \times 9/10 = 74,415$ (均分)

## 領 収 証      002208

魚津市議会 日本共産党 様      令和 3 年 8 月 24 日

¥ 76,230

但し 魚津市議会報告印刷代  
上記の金額正に領収いたしました。

内	印刷物代金	¥
取	消費税	¥

株式会社 印刷

代表取締役 寛

〒930-0802 富山県魚津市南町2-1-1 (0565)54-0121

取扱者印

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名      岡田 龍朗

# 魚津民報

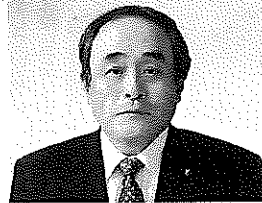
第499号  
2021年7月20日

日本共産党  
魚津市委員会  
連絡先  
魚津市北鬼江155-1  
TEL22-2891

日本共産党  
(魚津市議会内会派)

2021年  
3月・6月議会報告

魚津市の6月定例会は6月3日から21日までの19日間の会期で開かれた。  
一般会計補正予算など13議案を可決した。



岡田たつろう議員

### 6月議会報告

岡田龍朗議員は、第5次魚津市総合計画、後期高齢者の医療とコロナワクチン接種、魚津城跡、備ヶ岳県立自然公園、公立図書館等に關する5点を一問一答で質問をした。第5次総合計画施策(9)では、地球温暖化対策、循環

### 国民の命をまもるため 東京五輪は中止を

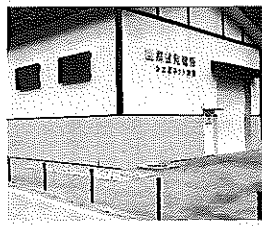
東京五輪は、緊急事態宣言発令の中開催される。五輪中止の決断をすべきである。国民には最善のコロナ対策となり得る。国民に対しては自粛を求めながら、五輪開催することには矛盾を感じる。商業主義化する五輪開催の在り方も問われている。コロナ禍、最良の機である。

### 魚津城跡試掘調査 歴史的評価は!

岡田議員は、魚津城跡試掘調査の経緯、昨年実施した調査目的等について質問した。山本生涯学習・スポーツ課長は「市教委が主体となり、3回実施した。従来の試掘調査は、石垣の年代確認やグラウンド下に城跡の痕跡を確認するための学術的な目的として実施したものである。昨年度の試掘調査は、旧大町小学校敷地内の魚津城跡に關わる遺構や遺物の保存状態を確認し、旧小学校の利活用を検討する基礎資料を得るために実施した」と述べた。

### 再生可能エネルギー 小水力は地域の特長

岡田議員は「再生可能エネルギーへの転換とは、具体的にどのようなか」と問うた。四十万副市長は「魚津市は、ゼロカーボンシティ宣言している。重要な課題である。水力は地域の特性に合う再生可能エネルギーと考えている。今年度、環境省の支援事業を活用し、2050年を見据えた導入目標の設定を行う予定である。市の推進すべき再生可能エネルギーの種別、目標値の達成に向けた施

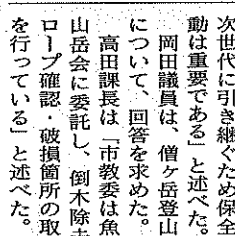


(黒谷小水力発電所)

岡田議員は「風力発電、森林資源等を活かすバイオマス発電の可能性を質問した。四十万副市長は「環境省の情報提供システムでは、留意事項等把握できる。詳細なデータは得ることができない。これらの発電は、県内でも先行事例があり、可能性について、十分に見極めていきたい」と答えた。

### 豊かな生物多様性 保全が重要

岡田議員は「備ヶ岳は県立自然公園である。その地質や地形から多様な植物が育成している。市は保全管理等を担っているのか」と尋ねた。高田生活環境課長は「別荘地や冬の季節風が強く吹き込む特異な地形を形成し、石

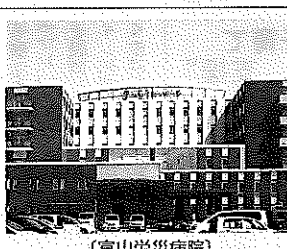


(魚津城跡)

### 後期高齢者医療費窓口負担が倍加 受診控えが懸念される

政府は、後期高齢者医療費窓口負担を2割とする法案を成立させた。実施時期は、2022年10月以降である。岡田議員は「窓口負担が2割負担による受診控えが危惧されているのか」と質した。武田民生部長は「受診控えについては、議員指摘のとおり、危惧される。国では、負担引き上げ後3年間、外来受診に限り、1割負担時と比べて窓口で支払う増加額が、月最大3千円となるよう緩和措置を設けている」と答えた。

市は緩和措置の周知と適切な受診の啓発等受診控えを防ぐ取り組みを行っている」と答えた。2割負担となる後期高齢者は、単身世帯年取200万円以上、夫婦世帯320万円以上である。資料によると、魚津市では、後期高齢者の19.2%の1,400人余りが対象となる。既に3割負担の人は、300人余りである。

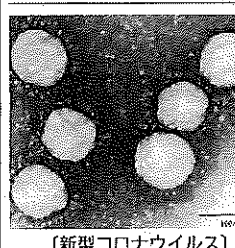


(富山労災病院)

岡田議員は「高齢者ワクチン未接種者への確認業務を行うか。64歳以下の接種見直しはどうか」と質問した。武田部長は「ワクチン接種は、受ける方の同意に基づくものである。その確認作業を基本的には行わない」と答弁。64歳以下については「6月下旬に60・64歳の接種券送付の予定である。また、59歳以下は、基礎的疾患を持つ方、保育士、小学校教員等を計画的に実施予定としている。併せて国・県が計画する接種体制を活用し、希望者の接種を進めたい」と述べた。

### 64歳以下 コロナワクチン 接種の見直しは!

武田部長は「ワクチン接種の課題と問題点を2点挙げ、(1)余剰ワクチンへの対応は優先すべき職種を考慮したキャンセル待ちリストの作成等必要である。64歳以下の対応は、集団接種を基本としているが、職域・学校等様々な提案がなされている。その接種券送付後の処理が課題となる。市町村との調整も必要となる。様々な課題が予想されるが、関係機関等と連携し、対応していきたい」と答弁した。



(新型コロナウイルス)

ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

魚津市の3月定例会は3月2日から22日まで、21日間の日程で開かれた。会期中の15日、16日の2日間に予算特別委員会が開かれた。

岡田議員は、質問項目に入る前に一言を述べ、「東日本大震災から節目の10年の歳月が経過した。原発事故は収束してはいない。原発ゼロの社会を目指すべき」と訴えた。

### 65歳以上PCR検査 検査期間の延長を

魚津市は、新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、65歳以上の方のPCR検査費用を助成している。

岡田議員は「対象者の検査受診者は何人。3月末である。延長の考えはどうか」と質問。

### 3月議会報告

## 二元気な中山間地域支援事業」 多面的機能を発揮している

岡田議員は「二元気な中山間地域づくり支援事業は毎年度予算化し、継続しているか。その目的とは何か」と質問。

次に、目的と理由は「中山間地域等が、河川の上流域に



位置し、傾斜地が多い等立地特性から、水源のかん養、良好な景観等の多面的機能を発揮している。しかし、平地と比較して農業生産条件が不利

## コロナワクチン接種 発症を防ぐ効果

その情報を正確に理解した上で、判断してもらいたい。発症予防効果は期待できる反面、他人への感染予防は解明されていない」と述べた。



(新川厚生センター 魚津支所)



### 知事会緊急提言 積極的な情報公開を

岡田議員は「緊急提言について、どう考えるか」と質問した。

であることから、担い手の減少、耕作放棄地増加等により、その機能の低下が懸念される。事業の活用により、多面的機能を確保することである。

## 片貝川流域「水循環遺産事業」の活用 専任ガイド養成の計画は

今年度当初予算案に片貝川流域水循環遺産活用事業予算額400万円を計上している。

高田課長は「事業計画の期間は定めていない。片貝川上流から天神山周辺までの範囲

## 自殺防止や引きこもり対策 ゲートキーパー養成講座を開催

令和2年度自殺者数の前年度比の伸び率は、富山県が全国最多である。岡田議員は「事実か。その要因等をどう捉えるべきなのか」と質問した。

武田民生部長は「3月3日に県の自殺対策推進協議会が開催され、前年比17.2%と全国2番目であると報告を受けている。20代の男女、30代女性で増加率が高くなっている。その要因については、コロナ禍の中、長期の自粛生活に伴う不安等が影響している可能性がある。



## 「子育て支援」 0歳児から18歳まで 医療費無料化が実現

魚津市は、現在の0歳児から中学校3年生までの子ども医療費無料化を拡充し、18歳までの予算が計上される。

この事業は、2016年11月30日「高校生卒業までを目指す」、魚津市の医療制度拡充」を求める請願書(第1,196筆)を事務局団体(新日本婦人の会魚津支部から村橋市長に提出されている。子どもを持つ母親の皆さん方が署名活動されて、実現に



(2016年、村橋市長に署名簿が提出された様子)

# 政 務 活 動 費 出 金 票

出 金 日	令和 4 年 2 月 28 日
項 目	① 調査研究費      ② 研修費      ③ 広報費 ④ 広聴費          ⑤ 要請・陳情活動費      ⑥ 会議費 ⑦ 資料作成費      ⑧ 資料購入費          ⑨ 人件費 ⑩ 事務所費
摘 用	魚津民報印刷費 (9月・12月議会報告)
金 額	79,415 円
支出内訳	76,230 × 1/12 = 79,415 (特命)  請求書裏面

領 収 証      002728

魚津市議会日本共産党 様

令和 4 年 3 月 28 日

76,230



但し、魚津民報(76,230号)印刷費  
上記の金額正に領収いたしました。

内	印刷物代金	¥	
取	消費税	¥	

**株式会社 すがの印刷**  
 代表取締役 寛  
〒938-0802 富山県砺波市菅野 1-1-1 (0765)564-0100



本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名      岡田 龍朗

# 魚津民報

第500号 日本共産党 魚津市北鬼江155-1  
2022年1月20日 魚津市委員会 連絡先 TEL22-2891

日本共産党  
(魚津市議会内会派)

2021年  
9月・12月議会報告

### 軍事費の削減 ノーベル賞学者が求める

世界のノーベル賞受賞者50人以上が各国政府に軍事費の年間2%削減を求める公開書簡を出し、気候変動、極度の貧困解決に資金をまわすよう求めるものである。一方、日本では、21年度補正予算と合わせ国内総生産比で、1.1%を超え、国民の命や暮らしを圧縮しようとしている。

## 12月議会報告

魚津市議会12月定例会は、12月2日から20日までの19日間の会期で開かれた。

2021年度一般会計補正予算等21議案を可決した。議員提出議案「最低賃金の引上げ及び中小企業支援拡充を求める意見書」を可決した。

岡田龍朗議員は、12月定例会において、コロナ感染症対策、地域経済、林業、教育に関する等、4点を質問した。

### PCR検査助成 対象年齢拡充の 考えはどうか!

武田民生部長は「PCR検査の助成は65歳以上の方に対し、令和3年1月から検査費用の一部を助成している。

## コロナ禍 長期化は子どもにも影響 子どもにも向き合う対応を

コロナ禍が長期化する中、子どもたちの生活リズムの乱れ、対人関係・学習等で困難が続く。対応が求められている。岡田議員は「児童・生徒の実態把握について、アンケート調査等、状況把握はどうしているのか」と質問した。



質問する岡田議員

現在、県では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金「検査促進枠」を活用して、無症状者のPCR検査無料化事業を検討している。

この事業は、健康上の理由等により、接種を受けられない人の対応等、また、感染拡大の場合、県知事の判断により、自己意志に基づくワクチンの未接種・接種者への対応等の2つのPCR検査無料化とするものがある。

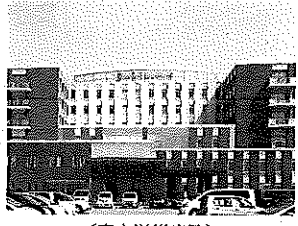
魚津市のPCR検査費用助成の対象年齢拡充については、県の事業の情報収集を図り、市が対応する内容を検討していきたい」と答弁した。

### 「後遺症」把握を コロナウイルスに打ち克つた

武田部長は「県が示す新型コロナウイルスに打ち克つた

山瀬教育長は「各学校では、子どもたちの悩みや小さなSOSを見逃さないよう、毎月アンケート調査等を実施している。また、子どもたち一人ひとりと話ができるように、定期的な相談週を設けている。全ての子どもたちが安心して学校生活を送れることができるように、居場所づくりや継続的な面談を実施している。そのうえで、関係機関とも連携し、多面・多角的な支援に努めている」と答えた。

岡田議員は、いじめ、不登校の実態、対応策を質した。



(富山労災病院)

めめのロードマップ等を踏まえ、状況に応じた判断、発信していききたい。そのため、3回目の接種を円滑に進めるため市医師会と連携し体制を整えていきたい」と答弁した。

岡田議員は、新型コロナウイルス感染症の後遺症がある人の把握はどうか」と質問した。

武田部長は「市内の後遺症に関する情報は持ち合わせていない。治療や療養後も症状が長引く場合は、厚生センタリ、医療機関等に相談するよう案内している」と答弁した。



子どもの安全な生活  
安心・学校生活

山瀬教育長は「いじめの実態を県・国と数値で比較すると、令和2年度の割合の数値では、小中学校とも県・県より低くなっている。不登校の実態は、小中学校とも高くなっている。学校では、チーム体制で対応しているが、教員だけでは困難な場合、スクールカウンセラー、適応指導教室の指導員等々と連携している」と答弁した。

岡田議員は、いじめ、不登校の実態、対応策を質した。

## コロナ感染拡大、地域経済に打撃 市の継続的支援もかなめ

コロナ禍で経済的に影響を受ける自営業者等への魚津市感染症対策支援金、プレミアム付飲食券取扱事業者支援事業について、岡田議員は「これらの助成事業の検証、課題をどう考えるのか」と質した。

四十万副市長は「市感染症対策支援金は、市内のすべての事業者を対象とする助成である。プレミアム付飲食券は、感染症対策を徹底しながら、市内の飲食店への来客を促す地域経済活性化を目的にしたものである」と答弁した。

武田部長は「市内の後遺症に関する情報は持ち合わせていない。治療や療養後も症状が長引く場合は、厚生センタリ、医療機関等に相談するよう案内している」と答弁した。

課題は、感染症対策の実施と継続的な実施である。今後効果的な経済対策を実施していききたい」と述べた。

## 林業活性化につながる 間伐促進事業に 地元産木材 需要拡大促進を

岡田議員は「国内林業の衰退の要因、総合計画にある間伐促進事業とは」と問うた。

宮野産業建設部長は「国産材と比べ安価な輸入材が大量に輸入されたことが一般的な見解である。伐採し、販売しても利益がない。経営の意欲を失い、後継者不足、林業従事者の高齢化等の問題を認識している」と答弁した。

次に、「間伐促進事業とは、確かな品質の木材、豊かな森林をつくるために森林整備の



(コロナ感染の影響を受けている魚津市の木割り地域)

四十万副市長は「本年3月頃から発生し、外国産木材の供給不足「ウッドショック」と呼ばれている。米国の新築住宅需要が増加し、米国の輸入木材も増加したことである。7月頃から木材の高騰も引き起こしている。県・国内の新築住宅建設着工数は数字の上では影響がない。しかし、木材価格の高止まりが長期化するとの予測がされている。今後の住宅需要に影響を及ぼすことが想定される」と答弁した。

建設に関する公共工事への影響については、副市長は「生コンや碎石の単価変動がないが、鉄筋、鉄骨の単価は2割〜3割高である。これ等の単価は本市の設計積算単価に反映されるため、公共工事の種別では、一定の影響があると考えている。価格の推移を注視したい」と答えた。

また「今年6月に、国の木材利用に関する法律が一部改正され、対象が公共建築物から民間の建築物一般に拡大された。

魚津市では民間事業者の木材利用を支援することにより、地元産木材の需要拡大につながっていききたい」と答弁した。



(間伐等により、整備されている森林)

魚津市の9月定例会は9月2日から10月5日までの34日間の会期とし、2020年度予算に対する決算特別委員会も開かれた。2021年度一般会計補正予算等13議案を可決した。議員提出議案の2議案は可決された。政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書案は、反対多数により、否決された。

### 政府の感染症対策 科学的知見を無視するもの

岡田議員は、質問項目に入る前に一言意見を述べた。「皆さん方の会話は新型コロナウイルス感染症が必ず出てくる。コロナ感染が拡大している要因の一つとして、政府が行っている感染症対策は科学的知見を無視する政治姿勢であり、政治姿勢を直すことである」と訴えた。次に、「県の厚生センターの自宅待機の対象となる人と医療的な対応はどうなのか」と問うた。

### 9月議会報告

## 二〇二四年七月の豪雨災害が教訓 土砂災害警戒地域等の対策を

魚津市では、近年に於いて2014年7月の天神山周辺地域等で発生した豪雨災害がある。岡田議員は、魚津市の土砂災害警戒区域等の危険防止対策等について、質問した。西川建設課長は「魚津市の土砂災害警戒区域は246か所あり、139か所が対策済である。現在、県事業により、土石流対策等を含め、7か所で工事を実施している。市の事業を1か所実施して、県へも要望し、対策工事を進めていきたい」と述べた。



(新川厚生センター 魚津支所)

武田民生部長は「自宅待機者の対象となる人は、入院病床や宿泊療養の入所可能状況や感染者の家庭状況を踏まえ、軽症・無症状の方で医師の入院・加療の必要が低いと判断された方が個別に判断された場合に、自宅で安静・療養を行うことになる。自宅待機者

の医療的対応は、一日2回電話による症状確認等を行い、症状の悪化の訴えがあれば、医療機関での受診・相談に十分な必要に応じた対応を行うとのことである」と述べた。

### 県確保の療養施設は 魚津市民も対象、負担はどうなのか

岡田議員は「県は、コロナ感染者の療養施設として民間ホテルを確保している。魚津市民も対象となり、負担はどうなのか」と質問した。

武田部長は「軽症者の療養施設は富山市内に2か所ある。魚津市民も対象となる。負担費用は、食事代を含み自己負担はない。着替え等の日用品は自己負担となる」と答弁した。

### 市道の溢水地域 その対応策に問う

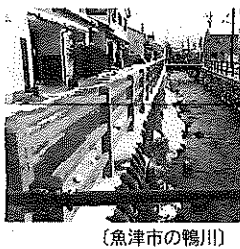
岡田議員は、集中豪雨等により、市道に水が溢れる地域・箇所とその対応策を質問した。西川課長は「集中豪雨等により、市道に水が溢れるような箇所は、市役所周辺をはじめ、電鉄魚津駅山側等5か所ある。その対応は、床下浸水を防ぐため事前に土のうを配布している。各課と連携し、効果的な対策を検討する」と答弁した。岡田議員は「中小河川の点検監視等はどうか」と問うた。西川課長は「点検は、梅雨前に県と合同で、重要水防箇所や水防倉庫の点検を行っている。また、大雨が予想される



### コロナ感染者の療養施設確保は

岡田議員は、市内でのコロナ感染者の療養施設確保について、臨時医療施設の考えを質問した。武田部長は「富山市内に既に2か所ある。感染拡大の可能性を見据え1か所追加する方向で県が調整している」と聞

る場合、事前の河川パトロールで、下流域の河川が溢れないように、水門の操作を行っている。市の管理する大きな河川は、県・国が管理する大きな河川と違い、水位計等は設置されていない。県のホームページ等の河川の水位情報、市民の通報等により、情報把握に努めている」と答えた。



(魚津市の鴨川)

いている。市内の療養施設確保については、県・市内の感染状況や宿泊療養施設の空き状況を踏まえ、県東部の宿泊施設の確保も含め、市民の方が安心できる療養の方法について、県と連携を図りながら、対応したい」と答弁した。

武田部長は「体育館等の臨時医療施設の設置については、県が主体的に県全体の医療体制を整えることになる。市としては感染状況や他の療養も含め、県や関係機関と図り対応していく」と答えた。



### 地籍調査事業 進行状況と問題点は

岡田議員は「魚津市の地籍調査進行状況と地籍調査の問題点はどうか」と質問。赤坂産業建設部長は「市の地籍調査対象面積は、14,100haとなる。(人口集中地区)で進捗率50.4%、それ以外の宅地で0.6%、農地で49%、林地で0%である。全体では、進捗率が10%となる」と答えた。

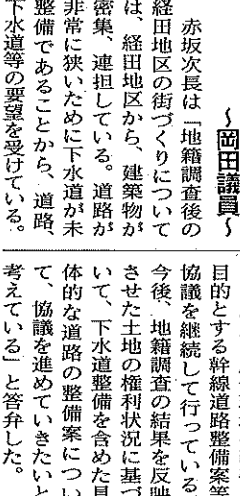
地籍調査事業の問題点として「土地の境界は、隣接の所有者等の現地立ち合い、双方

2021年度産米の米価が下落している。岡田議員は「米価下落の要因をどう捉えているのか」と見解を求めた。矢野農林水産課長は「21年度産米については、コロナ感染症の影響により、外食産業が低迷し、需要が減少したことが要因のひとつである」と答えている。また、富富富については、県の戦略会議での「県産コシヒカリと同等以上の価格帯を追求する」とした方針転換により、コシヒカリと同額に設定されたことによる下落になった」と述べた。岡田議員は「米価下落の収入減少影響緩和交付金について、どうなのか」と尋ねた。矢野課長は「コメ、畑作の交付金、いわゆるナラシ対策の合意のうえで確定することが必要である。多くの時間と労力を要する。境界位置について所有者の合意が得られない場合、境界位置が決まらない土地として登記されることとなる」と述べた。

は、当年度産米収入額が標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割が補填される。当年産収入額が標準的収入額を下回らない場合は、補填対象にならない制度である。昨年度45申請で、2件に補填金が交付された」と答弁した。岡田議員は「稲作農家への支援の考えを質問した。矢野課長は「コメの需給と価格の安定を図るために多くの作付転換が必要である。水田を活用した麦、大豆、飼料米等の対象作物の生産者を支援する国の交付金制度を利用して農業経営の安定を図っていただきたい」と答えた。

赤坂次長は「地籍調査後の経田地区の街づくりについては、経田地区から、建築物が密集、連担している。道路が非常に狭いため下水道が未整備であることから、道路下水道等の要望を受けている。ご意見・ご要望をお寄せ下さい。」

経田地区とは、平成27年度から防災・居住環境の改善を目的とする幹線道路整備事業等協議を継続して行っている。今後、地籍調査の結果を反映させた土地の権利状況に基づいて、下水道整備を含めた具体的な道路の整備案について、協議を進めていきたいと答えている」と答弁した。



(経田地区の道路整備事業等の対象となる居住地区)